

 城西大学
 城西短期大学
坂戸キャンパス
東京紀尾井町キャンパス
<https://www.josai.ac.jp>



式典2年ぶり 2021年度 入学式

2020年度学位記授与式

城西の
スポーツ

強豪団体 新主将に聞く

数理・データサイエンスセンター開設

2021年度 入学式

2021.4.3

式典2年ぶり

他の人と協力して 創造する「協創」が大事 (藤野学長)

今は時代の大変革期

——4つのCで実りある学生生活を (上原理事長)



①



②

2021年度入学式は4月3日、桜が舞うキャンパスの総合体育館で執り行われ、1726人が新たに城西の仲間入りをしました。入学式が行われたのは2年ぶり。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため午前と午後の2部制で行われ、マスク着用、着席の間隔を空けて実施しました。保護者関係者の来臨は入学生1名につき1名とさせていただきました。

藤野陽三学長は告辞で「コロナ禍における大学受験の1年間は苦勞と戸惑いの連続であったかと想像しますが、皆さんの長い人生において、掛け替えのない貴重な経験になると思います」と述べました。その上で「グローバル化という言葉の先にあるユニバーサル化という考えを皆さんに示したい」として、「ユニバーサルな素養の具体的な例の一つは『だれとでも協創できる』ということです。みんなと力を合わせて

新しい力をつくる、協力して創造することが非常に大事です」と呼びかけました。最後に新年度、数理・データサイエンスセンターが発足したことに触れ、「多くの皆さんに履修してもらい、城西大学生の強みにしてもらいたい」と語りました＝写真①。

また、上原明理事長は祝辞で「視野を広げ、敏感に感じ、考え続ける、そして自分の考えたことを人さまに理解していただくことが極めて重要」と語り、「今、時代は大きな変革期にある」として、発想を変えようというチェンジ(Change)、変化の裏に成功があるというチャンス(Chance)、挑戦してみようというチャレンジ(Challenge)、やると決めたら猛烈果敢にやるというチャージ(Charge)の4つのCを紹介し、「この4つのCで実りある学生生活を送っていただきたい」と新入生を激励しました＝写真②。



増田綾乃さん



小美濃優樹さん



岡本菜奈さん

これに対し、増田綾乃さん(現代政策学部)と小美濃優樹さん(理学部数学科)、岡本菜奈さん(短期大学)が新入生を代表して宣誓。増田さんは「ボランティア活動や課外活動に積極的に取り組み、幅広い知識を身につけ、社会貢献できるように日々努力してまいります」と述べ、小美濃さんは「現代社会が抱える諸問題に私たちはこれから学んでいく幅広い専門的な知識と教養を身につけ、社会に貢献できる人材になるよう努力してまいります」と語りました。岡本さんは「城西短期大学の学生として、建学の精神をもとに学則を遵守し、それぞれの目標に向けて真摯に勉学に励みます」と誓いました。

新2年生の入学式も

2021
4.30

新2年生の入学式も4月30日、総合体育館で予定されました。藤野陽三学長と草野素雄短大学長は連名で「コロナ禍の中、入学されてからの1年間、学生の皆さんには、オンライン授業等で多くの負担をお掛けしてきました。このような事態においても、皆さんが学びを止めることなく、学ぼうという姿勢を見せてくれたことに、非常に感銘を受けています。未曾有の1年間を乗り越えた今、新たな気持ちで新年度をスタートするための一つの区切りとして入学式を開催します」と参加を呼びかけました。

坂戸西高校と包括連携協定

2021
3.19

城西大学・城西短期大学は、埼玉県立坂戸西高校と包括連携協定を結ぶことになり、3月19日に基本協定書を交わしました。それぞれの教育内容の充実と生徒及び学生の資質の向上を図ることが目的です。

坂戸西高校は越生線を挟んで近接する県立高校。勉強や部活動のほか、学校行事にも真剣に取り組むことを教育方針に掲げ、単位制システムによる主体的な科目選択を通じて「自ら考えて行動する主体性」「仲間とともに行動する協調性」の育成を目指しています。

協定締結にあたって、藤野陽三学長が「近隣の高校と連携することで互いの教育の充実、施設の活用促進を図りたい」と挨拶、草野素雄短大学長はこれまでのお互いの関係を披露して挨拶しました。坂戸西高校の長谷川靖校長先生からは、近隣にある特性を生かして結び付きをさらに強めたいとお言葉をいただきました。具体的な教育交流・連携活動は次の通りで、これらの事項の円滑な推進を図るため連絡協議会を設置します。①本学の授業科目への聴講生の受け入れ②本学による公開講座及び出張講座の実施③本学スポーツクラブ等による部活動の支援と交流の促進④教育についての情報交換及び交流⑤本学への指定校推薦に関する事項⑥本学施設・設備の利用に関すること——など。



基本協定書署名後に記念撮影



藤野陽三学長から学位記を受ける卒業生

2020年度
学位記授与式・
卒業証書授与式

2021
3.17

1722人が巣立ち

「運」「縁」「恩」——危機は好機 (藤野学長)

仕事の本質、神髄に触れる これからの20年間に (上原理事長)

2020年度学位記授与式と卒業証書授与式は3月17日、総合体育館で執り行われました=写真。この日城西を巣立ったのは、1722人で卒業生総数は9万1505人となりました。新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から午前と午後の2部制で行われました。席は十分な間隔を開け、授与時以外はマスク着用で行われました。

博士5人をはじめ、修士と学士の授与代表者に藤野陽三学長から学位記が、留学生別科の授与代表者に卒業証書が授与されました。また、短期大学の授与代表者に草野素雄短大学長から学位記が授与されました。

藤野学長は告辞で「皆さんは、就職活動や大学院への進学活動において、この1年は新型コロナの影響を受けたことでしょう」と切り出し、「『大学4年生のときはコロナで大変だったけれど、あの時のコロナを乗り越えたからこそ、今の自分があるのだ』と言えるようになれば素晴らしいと思います。危機は常に好機、チャンスなのです」と語り、「『運』をもたらす人との『縁』、そして運、縁をつくる感謝の気持ちの『恩』、この三つを覚えていただければ幸いです」と結びました。

また、上原明理事長は祝辞で「広い視野から色々な情報を集め、それを分析して課題を見つけ、解決のための仮説を立て実行して検証する。その繰り返しを今後の20年間でやっていただきたい」と呼びかけ、「真剣に目の前の仕事に取り組むことによって、仕事の本質、神髄

に触れることができます。その中から自分はこれを一生の仕事にしたいというものを見つける20年間にしていきたい」とはなむけの言葉を贈りました。

これに対し、高橋百花さん(経済学部)と河野耀さん(薬学部薬科学科)、福田亜美さん(短期大学)が答辞を述べました。

高橋さんは、創立者の水田三喜男先生の座右の銘「偽らず、欺かず、詭^{こいつ}わらず」に感銘を受けたと紹介、「大学生活の中で友人と過ごした日々の楽しさ、学んだ知識、支えてくださった人たちの温かさは、私たちが前へ進むための大きな力になると信じています」と語り、河野さんは「先生方や仲間と一緒に喜んだり、苦しんだり、考えたり、切磋琢磨し励ましあってきた日々は私たちの財産であり、自信となっています」と述べました。福田さんは「激動の令和の時代。どんなに大きな壁に阻まれたとしても、城西短期大学で学んだことの意義をかみしめ、様々な繋が



高橋百花さん



河野耀さん



福田亜美さん

りを活かし、一人ひとりが託された使命を精一杯果たし、乗り越えることができると信じています」と決意を述べました。

理事長特別表彰は次の通り。

【学業賞】宗塚良真さん(経済学部)▷篠島天真さん(現代政策学部)▷田口康太さん(経営学部)▷細田佳那さん(理学部)▷上原美咲さん(薬学部)▷風巻和佳さん(短期大学)
【スポーツ賞】水久保漱至さん(陸上競技部)

2020年度
スポーツ優秀団体・優秀選手表彰式

2021
3.17

2020年度のスポーツ優秀団体・優秀選手表彰式が3月17日、清光会館で行われました。優秀団体は、第38回全日本大学女子駅伝対校選手権大会で7位(2年連続でシード権獲得)、全日本大学女子選抜駅伝で6位(2年連続入賞)となった女子駅伝部、第89回日本学生陸上競技対校選手権大会で、100、200mでダブル表彰台、総合7位などの活躍を見せた陸上競技部、2020全国大学選抜女子ソフトボール大会で3位となった女子ソフトボール部が選ばれました。

優秀選手21人は次の通り(学年は表彰当時、敬称略)。
菊田駿弥(経営学部4年)、菅原伊織(同)、砂岡拓磨(経済学部3年)、山本唯翔(経営学部1年)=以上、男子駅伝部▷竜谷有希(現代政策学部4年)、福嶋摩耶(経営学部2年)、伊藤柚葉(同1年)=以上、女子駅伝部▷水久保漱至(経営学部4年)、鈴木涼太(同3年)、蛭間雄也(同)、伊奈颯太(同2年)=以上、陸上競技部▷片倉誠也(経営学部4年)、堀越竜成(現代政策学部3年)=以上、サッカー部▷柄澤里香(経営学部4年)、青山琴葉(同)、佐藤里菜(同)、古井萌乃(同)、岩佐美歩(同)、遠藤光姫(同)、永野川彩(同)、鈴木美結(同)=以上、女子ソフトボール部

2020年度 永年勤続表彰

2020年度の永年勤続表彰の方々はこの通り(敬称略)。
【40年】榎本勝美(事務局長)▷荒木由実(経理課)▷山口浩美(経済学部事務室)▷福田京子(薬学部事務室)▷前田佐枝子(別科事務長)
【30年】若林俊英(語学教育センター教授)

対面授業主体で授業始まる オンライン授業の利点も取り入れ フレキシブルに対応

2021年度の授業は、新型コロナウイルス感染症への対策を十分に講じたうえで対面授業を主体に実施することになりました。しかし、状況に応じてはフレキシブルに対応できる体制で実施するとしました。大人数科目(原則100人以上)の授業はオンラインやオンデマンドで行っていますが、オンライン授業の利点を対面授業にも取り入れ、より一層、教員と学生とのコミュニケーションを円滑に行うなど、授業の双方向性を高めるとしています。また、感染症対策も十分講じ、実習科目やアクティブラーニング科目も積極的に開講していきことになりました。

本学では「対面授業に向けた感染症防止のための手引(更新)」を作成、学生の皆さんに理解と協力を呼び掛けています。登校前の検



入室前には消毒を

着席は間隔を空けて

温や登校時のマスク着用、正しい手洗いの徹底、密閉・密集・密接の3密の回避をはじめ、各建物の入口や各施設内には手指消毒用アルコールを設置して入退室の際の利用を呼びかけたほか、廊下では立ち止まらず、大声で話し合うのは止めることや必要な用事が済んだら帰宅することなどを求めています。

数理・データサイエンスセンター開設 教育・研究機関、企業との連携・交流の場へ

本学では4月に数理・データサイエンスセンター(大島利雄センター長)を立ち上げました。城西大学における先進的な数理工学教育・研究の基盤としての役割を担うとともに、学部間や他大学などの教育・研究機関や企業との教育・研究の連携・交流の場をつくるのが目的です。具体的には、AI(人工知能)を用いた様々な研究を行うとともに、数理・データサイエンス教育をサポートしていきます。

現在はデジタルトランスフォーメーション革命(IoT、ビッグデータ、AIなど)の時代と言われ、文理を問わずデータサイエンスのスキルを身に

つけた人材が経済や医療などほとんど全ての分野の産業界から求められています。このため、本センターはデータサイエンス教育においてキーとなる基礎的部分や数理的部分の講義を新たに開講します。オンライン学習等のIT化や新たなアクティブラーニングの導入などを行い、大学内で連携して基礎教育の向上を目指します。さらに学外との研究・教育の交流の場となる紀尾井町数理セミナーを開催します。

データサイエンス教育プログラムに参加する学部・学科、提供する科目や修了認定の詳細については7月ごろ公表予定です。今年度後期から始まるデータサイエンス教育プログラムを継続しつつ、来年度は前期からデータサイエンス教育プログラムを展開していきます。

「英語だけの世界」にふれる貴重な1日 ——国内英語留学プログラム

短期大学の学生8人が3月29日、「TOKYO GLOBAL GATEWAY(TGG/東京都英語村=東京都江東区)の国内英語留学プログラムに参加し、「英語だけの世界」にふれる貴重な体験をしました=写真。TGGは、海外をイメージして作られた街並みや店舗等でグローバ

ルな世界を体験できる体験型英語学習施設です。マレーシア語学研修などが新型コロナウイルスの流行によって実現できなくなったことから企画されました。

最初のプログラム「ニュース番組を作ろう」から、「スクールオフィス」

「ブックストア」「カフェ」の3つの場面で各自がミッションカードに書かれた課題に挑戦するプログラム、風呂敷の使い方を英語で説明するプログラムに続いて、最後のプログラムは「ホテルゾーン」。「ホテル」「クリニック」「グローサリーストア」の3つの場面でミッションをこなしました。振り返りの時間では、各自がどのようなプログラムに参加し、どのようなミッションを達成してきたかを英語で振り返り、お互いに感想を述べ合って貴重な英語漬けの1日を終わりました。



2021
3.29

バイオ技術者認定試験 上中級合わせて 34人合格

2020年12月20日実施の第26回上級バイオ技術者認定試験と第29回中級バイオ技術者認定試験で理学部化学科から34人が合格しました(上級1人、中級33人)。昨年度はオンラインでの講義で学んだ成果を試す機会となりましたが、例年と変わらない人数が合格しました。

理学部化学科の特徴の一つに「生命系」の講義や研究の充実があります。理学部化学科は生物系の講義を各学年に配置し、基礎からバイオテクノロジーまで学習できるだけでなく、バイオ産業の拡大とともに必要となる技術者を認定するNPO法人日本バイオ技術教育学会が実施する資格「バイオ技術者認定試験」取得に向けた具体的な指導も授業に組み入れています。

2020
12.20

ブダペスト商科大学とオンライン交流

2021
3.18

例年2月に、城西大学はハンガリーのブダペスト商科大学と共同で、国際グローバル研修を現地で実施していますが、2020年度はコロナ禍の影響のため、延期せざるを得ない状況でした。その中でも両大学の学生間交流を行えないかと打ち合わせを重ね、Zoomによるオンライン交流を両大学で企画しました。

そのオンライン交流の成果報告会を3月18日に開催しました=写真。報告



会には、ブダペスト商科大学からバラージュ・ハイドリツビ学長、ヴァーローツィ・マリアンナ東洋ビジネス・イノベーション・センター所長、城西大学からは于洋副学長が参加しました。また、大鷹正人駐ハンガリー日本大使、藤居真美国際交流基金ブダペスト日本文化センター所長、林敏夫日本語教育上級専門家、末廣徹JETROブダペスト事務所長などの著名な方々にもご参加いただきました。日本人学生は英語、ハンガリー人学生は日本語による発表形式で、これまで準備してきた成果を發揮し、素晴らしい発表をしてくださいました。

2年ぶりに学生団体の勧誘活動 各種委員会、学生会、部活動、サークルなど54団体

2021
4.19~

学生団体の各種委員会、学生会、部活、サークルの勧誘活動が4月19日から30日まで坂戸キャンパスのメインストリートを中心に行われました=写真。ブースによる勧誘活動が行われるのは2年ぶり、



54団体が参加しました。今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として期間中、2グループに分けて5日間行われました。主催した学生団体の中央委員会委員長の和田葵さん(経済学部4年)は「新入生、そして新2年生も色々な団体のブースに行って先輩の話を聞いて、自分に合った学生団体に入ってください。そして、学生生活を謳歌して仲

間たちとたくさん思い出を作ってください」と呼びかけました。また、5月10日から21日まで(火・木は除く)、中央委員会と同じく学生団体の広報委員会がWebで「城西大学学生団体合同説明会」(ガクダンゴ)を開催、勧誘活動をします。

【参加団体】(順不同)

高麗祭実行委員会、広報委員会、生活委員会、体育祭実行委員会、全學應援團、全學應援團チアリーダー部、卒業アルバム編集委員会、薬学部薬学会、理学部化学会、理学部数学会、経営学部学生会、経済学部ゼミナール連合会、現代政策学部学生会、天文研究会、漢方研究会、グリークラブ、漫画研究会、貴雲塾、シューレース、軽音楽研究会、フォーク・スウィングクラブ、吹奏楽部、写真部、アメリカンフットボール部、陸上競技部、水泳部、城西AC、女子ソフトボール部、ゴルフ部、少林寺拳法部、剣道部、サッカー部女子チーム、射道部、弓道部、バレーボール部、準硬式野球部、ラグビー部、柔道部、男子ソフトボール部、バドミントン部、Bel's、マープル、薬と食の研究、DHA、人狼サークル、カーリングチーム城西大学、オープンキャンパスサークル、Sunshine、城西ラクロス、スマッシュ、ローターアクトクラブ、FCオリブ、郷土料理研究会、チェリー

「JOSAI スポーツようかん」 塩味・ゆず味の2種類

——大学オンラインショップで発売中

薬学部医療栄養学科で男子駅伝部のマネージャーの市川ゆみさん(4年)を中心とした学生たちが3月、城西アスリートの栄養補給・体のケアに貢献したいと「JOSAI スポーツようかん」=写真=を考案しました。膝痛軽減効果が報告されているコラーゲンペプチドを使用し急激な血糖値の上昇を抑えるとともに脂質利用促進効果が報告されているパラチノース®を



使用したタンパク質が一般のようかんの2倍——が特長です。選手たちの要望により、練習後の塩分補給にも使える塩味と、毛呂山町が産地として有名な「桂木ゆず」を使ったゆず味の2種類。携帯して食べやすい一口サイズ50グラムで150円(税込)。賞味期限は1年間となっています。赤色が主体の塩味は、男子駅伝部・陸上競技部のユニフォームカラーが使われ、黄色が主体のゆず味は女子駅伝部のユニフォームカラーが使われています。大学の「JOSAI サポートオンラインショップ」=URL=で販売しています。

<https://www.josai-support.com/shopping/>

“美味しい” “楽しい” 食事ってなんだろう? 医療栄養学科「先生と遊ぼう!」企画第3弾 ——食生活指針で意見交換

2021
3.18

医療栄養学科の先生と遊ぼう! 第3弾「コロナ禍の今だから考えよう。“美味しい” “楽しい” 食事ってなんだろう?」が3月18日に開かれました=写真。自宅にいる時間が長い今こそ、学生と管理栄養士の教員で何かできればと企画。当日は、高校3年生と医療栄養学科の1年生と3年生が参加しました。

第3弾の今回は、健康な食生活を実践するための手引きである「食

生活指針」の内容について、具体的な事例を取り上げながら習得することをテーマにしました。最初に、参加者に「楽しかった」や「美味しかった」「嬉しかった」などの食事のエピソードを写真とともに披露してもらい、次に現代の食生活の問題点について議論。そして食生活指針の最初の項目「食事を楽しみましょう!」について意見交換しました。食生活指針は10項目あるため、シリーズ化を予定しているそうです。



「大学ビブリオバトル・オンライン大会2020」 本選準決勝に城西大学学生が出場しました

2020年12月19日に開催された「大学ビブリオバトル・オンライン大会2020」本選の準決勝(24人参加)に現代政策学部2年の村中皓さんが出場しました。村中さんは10月開催の学内大会「ビブリオバトル2020 in 城西大学」、11月開催の「大学ビブリオバトル・オンライン大会2020」予選会でチャンプ本を獲得し今回の進出を果たしました。残念ながら決勝進出は逃したものの練習成果の見える落ち着いた



発表で、強弱や緩急を付けた話し方に豊かな表情も加わり、その本を心から紹介したいという熱意が伝わる内容でした。村中さんの発表本「二十歳の原点:二十歳、最後の日記」高野悦子著=写真=は図書館に所蔵があります。また、各試合の結果や発表(動画)は、大会公式サイト



村中皓さん

URL=で確認できます。ぜひご覧ください。
<https://univ-online.bibliobattle.jp/result>

日高市立図書館主催 「ビブリオバトル2020冬の陣」に 城西大学学生が出場しました

12月19日に日高市立図書館で開催された「ビブリオバトル2020冬の陣」に図書館学生アドバイザーの小松直人さん(経済学部3年)が出場しました=写真①。「ビブリオバトル冬の陣」は高校生や地域の方も出場する大会で、毎年開催されています。大学生同士の試合とはバトラーも聴講者も異なる雰囲気の中、熱戦を繰り広げられました。8冊の紹介本の中から小



①



松さんの発表本(「また、同じ夢を見ていた」住野よる著=写真②)は見事、準チャンプ本に選ばれました。当日のすべての発表本は日高市立図書館のサイト=URL=で確認できます。



<https://lib-hidaka.saitama.jp/event/?id=145>

※ 当館は、日高市立図書館と提携し、相互協力を図っています。

書評専門紙『週刊読書人』に 城西大学学生の書評記事が 掲載されました

『週刊読書人』2021年3月12日号の「書評キャンパス—大学生がスズメの本—」に小松直人さん(図書館学生アドバイザー)の書評が掲載されました(「また、同じ夢を見ていた」住野よる著)。週刊読書人は図書館1階新聞コーナー(ブラウジングコーナー)で読むことができるほか、週刊読書人ウェブ=URL=にも掲載されています。現役大学生の感性で綴られた書評に触れてみてください。

<https://dokushojin.com/review.html?id=8020>

図書館学生アドバイザーが 図書館総合展「ポスターセッション」で 優秀賞を連続受賞

第22回図書館総合展「ポスターセッション」で、水田記念図書館の作品が2つの賞を受賞し、3月31日(水)に表彰式が行われました。学生アドバイザーが作成したポスターは、第20・21回の優秀賞に続き、今年度は来場者投票賞3位と日本事務器賞を受賞しました。表彰式は図書館7階で行われ、日本事務器の方より、学生アドバイザー代表として小松さんが表彰状と盾を受け取りました=写真。第22回(2020年度)のポスターはオンラインで公開しています=URL。2つの賞に輝いた力作をぜひご覧ください。

https://libopac.josai.ac.jp/top/whatsold2.htm#W-201102_3



受賞作品



展覧会開催報告

水田美術館は2020年12月7日より感染症対策を講じたうえで開館を再開し、下記展覧会を開催しました。

展覧会Ⅰ 「地域表象の仮面文化～ローカルヒーローの造形美～」

[会期] 2020年12月7日～18日
[場所] 2階ギャラリー1、1階多目的スペース
[企画/監修] 経営学部 石井 龍太 准教授

1980年代から全国的に広がったローカルヒーロー、その造形物を現代の仮面文化の一つ、地域文化の一つとして捉える試みをご覧ください。また、本展では石井先生指導のもと、展示作業や内覧会に学生が参加し、教育活動を示す展覧会にもなりました。



石井ゼミの学生による展示作業の様子

石井ゼミの学生による内覧会での展示説明の様子



〔高橋士直(シライ)胸像〕
2019年制作
城西大学経営学部石井ゼミ



参加型展示「1000色の声」

展覧会Ⅱ 「IMABARI Color Show × JOSAI Color 2020」

[会期] 2020年12月7日～2021年2月10日
[会場] 2階ギャラリー2
[企画/監修] 経営学部 辻 智佐子 教授

愛媛県今治市の染色加工業を紹介する展覧会「IMABARI Color Show」の第2弾をご覧ください。本展ではオリジナル企画の「JOSAI Color 2020」と「1000色の声」も展示し、来館者にお楽しみいただきました。



展示風景

展覧会Ⅲ 「鈴木遂峰書展」

[会期] 2021年1月8日～2月10日
[会場] 2階ギャラリー1
[特別協力] 経済学部

鈴木 雅勝 准教授
【作家ギャラリートーク】1月23日、
2月8日(月)各日14:00～14:40
教鞭を執る傍ら、書家としても活躍されている鈴木雅勝先生の屏風を含む書作品をご紹介します。



ギャラリートーク時の様子



展示風景

展覧会Ⅳ 「笠間眞佐子シャドウボックスアート作品展 ～細川紙に願いを込めて～」

[会期] 2021年2月24日～3月12日
[会場] 2階ギャラリー1

葛飾北斎の風景画、花鳥画を中心に、平面絵画であった浮世絵が3Dとなったシャドウボックスアート作品へと生まれ変わった様子をご覧ください。その立体感と色鮮やかさに大好評となりました。

葛飾北斎(紫陽花に燕)(2018年制作)



展覧会Ⅴ 「第5回めつけたさかど! デジタルフォトコンテスト作品展」

[会期] 2021年2月24日～3月19日
[会場] 2階ギャラリー2

毎年恒例のデジタルフォトコンテスト作品展では、坂戸市民や坂戸市を訪れた人たちが市内で「めつけた。(見つけた)四季折々の自然やまちの風景、行事などを思い思いに撮影した写真のパネルを展示しました。

〈平成 なごり雪〉来館者投票1位



美術館新装開館10周年記念スタンプカード

2011年12月のリニューアルオープンから10周年を記念してスタンプカードを作成しました。展覧会ごとにスタンプを集めて頂くと美術館グッズをプレゼントします。

ぜひ、ご利用ください!



「菜」



「クリアファイル(1枚)」
(※種類は選べません)



「エコバッグ(1個)」
(※種類は選べません)

最新情報は水田美術館HP、Twitterでご確認ください



水田美術館 HP



水田美術館 Twitter

城西のスポーツ

強豪団体 新主将に聞く

コロナ禍の中、各運動部の新シーズンが始まりました。活躍ぶりが目立つ城西大学の強豪団体。新主将に今シーズンの意気込みや抱負を聞きました。【プロフィール欄は敬称略】

男子駅伝部

宮下璃久 主将

「箱根優勝を目標に」

昨シーズンの箱根駅伝。予選会を3位で通過したものの、本戦は16位でした。その中でも1年生だった新2年生の活躍は明るい材料でした。今シーズンも昨シーズン同様、新人15人を迎えて昨年当初より4人多い56人態勢でスタートを切りました。新主将は4年生のミーティングで「手を挙げた」と言う宮下璃久選手(経営学部4年)。「自分はもともと人の前に立って引っ張るというタイプではないので、特に4年生が中心となって引っ張っていくチームを目指したい。今季の目標は予選会トップ通過。本戦は優勝。無謀だと言われると思うが、本気で目指すべき場所であると思うので、高い目標を掲げて取り組んでいきたい」



宮下璃久主将

■プロフィール

[部員数] 56人
[部長] 真野 博
[監督] 榎部静二
[コーチ] 五十嵐真悟
[主将] 宮下璃久(経営学部4年)
[主務] 上田 衛(経営学部4年)

硬式野球部

柳沼楽人 主将

「一つになって 頑張っていきたい」

昨秋、首都大学野球2部リーグで優勝を決めたものの変則日程のため、入れ替え戦がありませんでした。今季の目標はもちろん1部復帰です。新主将に決まった柳沼楽人選手(経営学部4年、一塁手)は、ケガのため昨秋は1打席のみの出場でした。「ベンチで見たあの(優勝の)光景を皆でもう一度見たい。そのために一日一日頑張っています。一つになって頑張っていくことができたら、感動できるチーム、応援してもらえるチームになると思うので、そこを目指して1部昇格につなげたいと思います」



柳沼楽人主将

■プロフィール

[部員数] 145人
[部長] 高柿 健
[監督] 村上文敏
[コーチ] 安富洋二
[コーチ] 代田建紀
[コーチ] 稲見大輔
[主将] 柳沼楽人(経営学部4年)
[主務] 鬼束哲生(経営学部3年)

サッカー部

堀越竜成 主将

「組織力で 関東リーグ2部復帰へ」

「JOSAI SPORTS FIELD」が完成して初めてのフルシーズンのスタートを切りました。今年のスローガンは、心一つにして物事に当たることを意味する「和衷協同」。フットサルチーム、女子チームともどもチーム目標に向かって邁進します。昨秋のリーグ戦で得点王に輝いた堀越竜成新主将(現代政策学部4年)は「チームのために何が出来るかを考え、行動できる集団になることが必要。組織力で戦っていきたい。今年こそは関東2部昇格の目標を持って取り組んでいきたいです」



堀越竜成主将

■プロフィール

[部員数] 110人
[部長] 佐々木達也
[監督] 東海林 毅
[女子部門監督] 中上智晴
[フットサル部門監督] 柴沼 真
[ヘッドコーチ] 和賀 崇
[コーチ] 今井光太郎
[コーチ] 今野 拓
[主将] 堀越竜成(現代政策学部4年)
[主務] 石原辰弥(経営学部4年)

女子駅伝部

藤村華純 主将

「目標は3位入賞」

昨年の新入生は3人のみで少ない部員で1年間戦ってきました。その中で、1年生の頑張りもあって全日本は7位、富士山女子は6位と2年連続の入賞を果たしました。新主将は3年生の藤村華純選手(経営学部)。今シーズンは高校駅伝で活躍した選手たち7人が新たにチームに加わりました。「明るい選手が多く、今年はチームの人数も多くなるので皆で盛り上げ、高め合えるのではないかと思います。全日本と富士山女子で3位入賞を達成できるように、自分から率先して走りの面だったり、人間性の面だったり、もう一段階、二段階成長できるように頑張りたいです」



藤村華純主将

■プロフィール

[部員数] 18人
[部長] 佐藤純詔
[監督] 赤羽周平
[コーチ] 赤羽有紀子
[主将] 藤村華純(経営学部3年)
[主務] 松田純香(経営学部4年)

陸上競技部

鈴木涼太 主将

「関東インカレ1部残留と 東京五輪」

チームの目標は関東インカレで13年連続維持してきた1部残留を死守すること。新主将には昨シーズン、目覚ましい活躍を見せた鈴木涼太選手(経営学部4年)が就任しました。鈴木選手は昨年10月の日本選手権の200mで3位表彰台、100mで6位入賞。鈴木選手のベストは100m10秒22、200m20秒77。「昨年は筋力を増やせたことがパワーアップにつながりました。今季は最低限、100、200とも自己ベストを出したい。さらに東京五輪の参加標準記録10秒05を切って、日本選手権で3位以内を狙いたい。(主将として)自分がチームを引っ張ることで1部残留と総合一桁順位を目指したいです」



鈴木涼太主将

■プロフィール

[部員数] 80人
[部長] 柳下正和
[監督] 千葉佳裕
[コーチ] 本塩 遼
[コーチ] 篠原康男
[跳躍コーチ] 高橋正二
[主将] 鈴木涼太(経営学部4年)
[主務] 小村 逸(経営学部4年)

女子ソフトボール部

小嶋楓 主将

「目標は昨年超え」

女子ソフトボール部は昨秋、インカレの代替大会として開かれた全国大学選抜ソフトボール選手権で、全国大会では過去最高のベスト4(3位)に進出しました。1年の冬から捕手としてマスクを被っている小嶋楓選手(経営学部4年)が新チームの主将になりました。「自信にもなったが、それよりも悔しい気持ちの方が強かったです。それはチーム全員の気持ちでした。4年生だったエースと外野手が抜けて、そこを埋めていかないとダメという危機感があります。昨年のチームを超えるために、上級生たちがどうチームを引っ張っていくかを重視しています。自分たちのプレーを見て、下の選手たちが頑張ってくれたら」



小嶋楓主将

■プロフィール

[部員数] 33人
[部長] 山口理恵子
[監督] 長澤淑恵
[コーチ] 二上香奈子
[コーチ] 金澤麻美
[主将] 小嶋 楓(経営学部4年)
[主務] 宮崎遥希(経営学部4年)

男子ソフトボール部

高柳陸 主将

「愉快活発!!」の下、 練習に汗を流す

男子ソフトボール部が練習する毛呂山町大類地区の西戸グランド。練習中、バックネットには「愉快活発!!」の幕が付けられています。昨年度卒業した先輩たちが、後輩に贈ったものです。恵まれない練習環境の下、「ソフトボールが大好き」で集まった選手たち。新主将には高柳陸選手(経営学部4年)が就きました。「目標は日本一ですが、チームの目的は社会に出るための準備としての人間形成。あいさつはもちろん、おもてなしをすることも。そこは何より大事にしていますので、人として成長し、最後にチームとして日本一を取ればこれ以上のことはないです」



高柳陸主将

■プロフィール

[部員数] 27人
[部長] 木村聡一郎
[監督] 蟹沢光浩
[コーチ] 飯嶋恭光
[主将] 高柳 陸(経営学部4年)
[主務] 小坂 匠(経営学部3年)